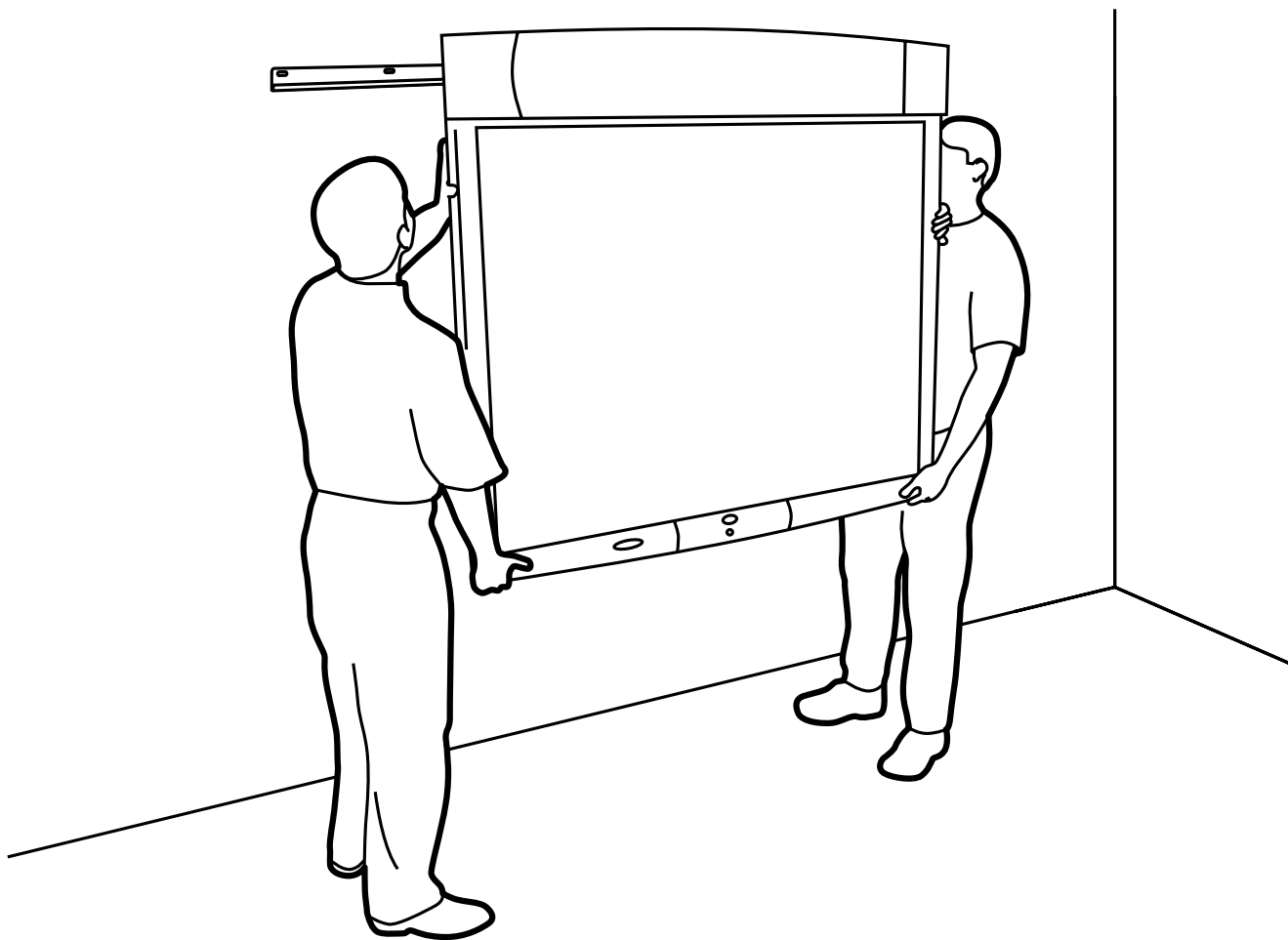


3M *Digital WallDisplay*

Installation Guide

設置ガイド

【日本語版】



January 2007

Copyright © 2007, 3M. All rights reserved.

危険防止のために

<3M> Wall Display (本機) を設置する前に、本書と『オペレータガイド』に掲載の危険防止情報をよくお読みください。保守点検のご担当者は、『サービスマニュアル』に掲載の危険防止情報もよくお読みください。これらの指示書はいつでも参照できる場所に保管してください。

本機の取付具について

<3M> Wall Displayの壁掛用ブラケットは、本機での使用を前提に設計・製造・試験されたものです。また、本機に付属のアンカーボルトとネジは、中空壁(乾式壁)用です。中空壁(乾式壁)への取り付けが不可能な場合は、これ以外の金具が必要となります。所定の部材(乾式壁、木材、コンクリート等)に適合しないブラケット、ボルトおよびネジ、あるいは荷重適応力の低い取付具を使用すると、設置が正しく行なえないことがあります。この場合は、設備の破損や人員の怪我を招くことがありますので、ご注意ください。

危険防止ラベルの記号と用語の意味



危険

人員の死傷を招く恐れがある潜在的な危険性を示します。



警告

人員の軽傷を招く恐れがある潜在的な危険性を示します。
安全面で問題のある行為について注意をお願いすることもあります。



危険 感電に注意してください。



危険 高温部分に注意してください。



警告 レーザー放射に注意してください。



注意 指示書の危険防止情報を参照してください。

重要

- 投影ランプの寿命低下を防ぐため、素手で触らないでください。
- 画質の低下を防ぐため、投影レンズその他の光学系部品に触らないでください。
- 本機の汚れを落とすとき、『オペレータガイド』に掲載されていない洗剤や薬剤は使用しないでください。
- 投影ランプを長持ちさせるため、乱暴に扱ったり、ランプのガラスに傷をつけないように注意してください。使用済みのランプを再利用しないでください。
- 換気用の開口部をふさがないでください。


危険

本機の利用による人員の死傷や財物の損壊を防ぐために：

- 本書と『オペレータガイド』『サービスマニュアル』に掲載の危険防止情報をよくお読みください。
- 本機の周囲にお子様がいる場合は、必ず大人の方が付き添ってください。本機を使用中に無人で放置しないでください。
- 本機の電源コードとデータケーブルは、人がつまずいたり高温になる場所に通さないでください。

感電や火災による人員の死傷を防ぐために：

- 本書と『オペレータガイド』に記載されていない点検・修理・保守は、有資格の技師にご依頼ください。お客様が本機を分解することは避けてください。
- 本機の清掃、ランプの交換、その他の保守は、本機の電源スイッチをOFFにして電源コードをコンセントから抜いた状態で行ってください。コードはプラグ部分を持って抜いてください。
- 本機を使用しないときには、本機の電源スイッチをOFFにして電源コードをコンセントから抜いてください。
- 本機または電源コードに損傷が見られる場合は、有資格の技師による点検を受けるまで本機を使用しないでください。

- 本機はアースされたコンセントに接続してください。
- 延長コードが必要な場合は、電流定格が本機と同等以上のコードを使用してください。アンペア数が本機よりも低いコードはオーバーヒートすることがあります。
- 本機に水などの液体をかけないでください。

火災や爆発による人員の死傷や財物の損壊を防ぐために：

- 本書と『オペレータガイド』に記載されていない点検・修理・保守は、有資格の技師にご依頼ください。

本機の落下等による人員の死傷を防ぐために：

- 壁面または天井への取り付けが必要な場合は、必ず3M製の壁掛用キットを使用してください。
- 3M製の壁掛用キットの取り付けは、適任の方が行ってください。
- 3M製の壁掛用キットの取り付けに際しては、本書の指示を厳守してください。
- 本書に掲載されていない取付具が必要な場合は、本機の重量および壁面の材質に適合するものを使用してください。


警告

本機の利用による人員の軽傷や財物の損壊を防ぐために：

- 本機を直射日光に晒したり、屋外で使用しないでください。

本機の持ち上げによる人員の軽傷を防ぐために：

- 本機を壁掛用ブラケットに取り付けるときには、必ず2名で持ち上げてください。
- 本機を1名で持ち上げないでください。
- 30 kg程度の重量に確実に耐えられない方は、本機を持ち上げないでください。

高輝度投影ランプからの強力な発光で視力を損なわないために：

- ランプの発光中にレンズを直にのぞき込まないでください。

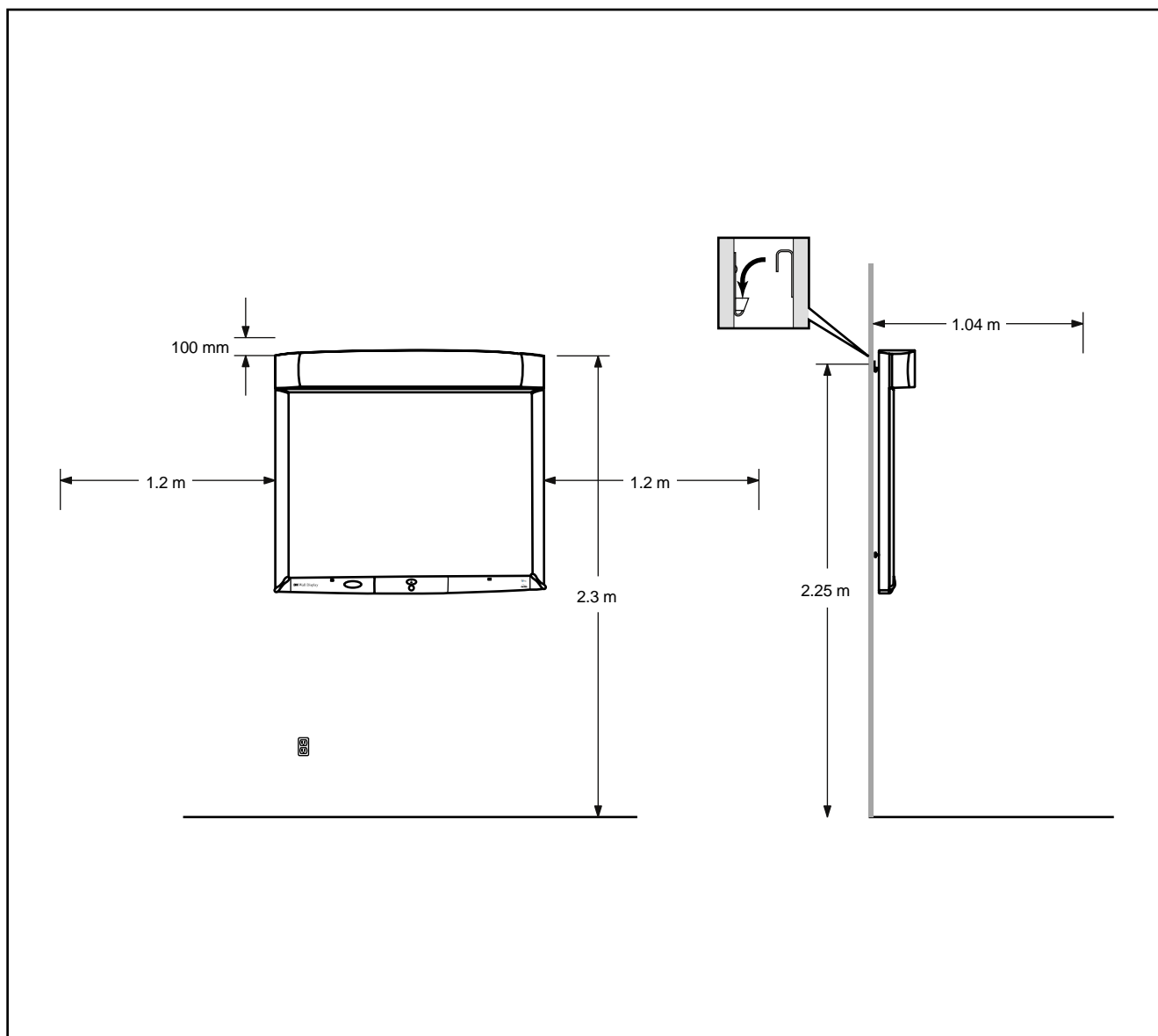
設置前の準備

本機の設置場所

- ACコンセントの近くに設置してください。<3M> Wall DisplayのAC電源接続部は、本体の左下にあります。本機に付属のAC電源コードの長さは2 mです。
- 投影スクリーンを交換するときには本機の側面から引き出しますので、その周囲に1.2 mほどのスペースが必要になります。
- 作動中の投影アームは本体から約1 m飛び出した状態になりますので、付近の照明器具にぶつけないように注意してください。

換気

- 本機の周囲には10 cm以上のスペースをとってください。
- 換気用の開口部をふさいだり、開口部にほこりをためないようにしてください。

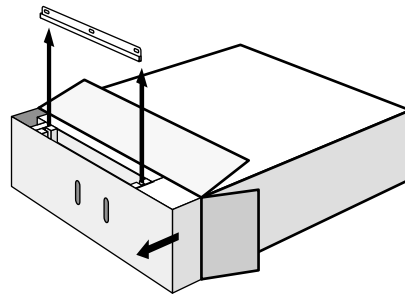


設置

壁掛用ブラケットの取り付け

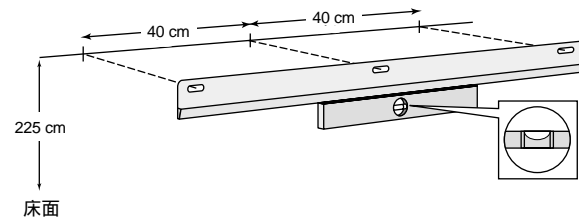
壁掛用ブラケットとボルト類を取り出す

1. 運送用コンテナの表を上向きにして床に置きます。
2. コンテナの一端を開きます。
3. 内箱を少し引き出します。
4. 壁掛用ブラケットを取り出します。ボルト類はブラケットにテープ止めされています。

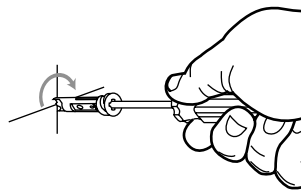


中空壁（乾式壁）に取り付ける

1. 本機をかける場所を決めて壁の間柱の位置を確認します。
2. 水準器を見ながらブラケットを水平にして壁に当て、間柱のない箇所に印をつけます。

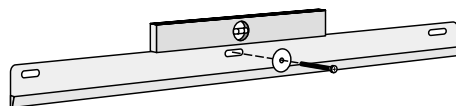


3. プラスのドライバーでアンカーボルトを壁に完全に挿入します。



4. アンカーボルトにブラケットの穴を合わせ、ブラケットが水平になっていることを確認してから座金とネジを締めます。

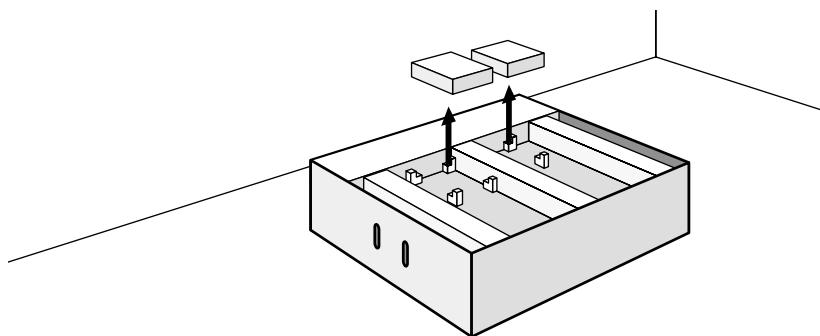
注意：壁の材質が木材、コンクリート、ブロックなどの場合は、その材質と本機の重量に適合する取付具を使用してください。



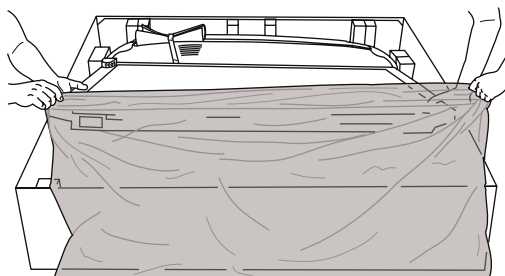
本機の取り付け

本機を取り出す

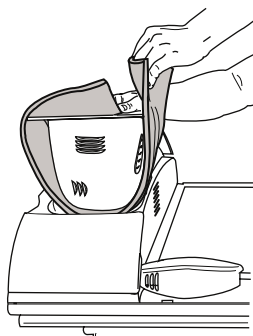
1. 運送用コンテナの一端が開いた状態になっています。
2. 内箱を完全に引き出します。
3. アクセサリーボックスを取り出します。
4. 詰め物を取り出します。



5. 本機の上部を持ち上げてビニール袋を下部に向かって押します。本機の上部を下ろします。
6. 本機の下部を持ち上げて全体をビニール袋から出します。



7. 投影アーム固定用のテープをはがします。テープは捨てないでください。
8. 投影アームを左側から持ち上げて詰め物を引き出します。



9. 投影アーム固定用のテープを元通りに貼り付けます。

本機を壁にかける

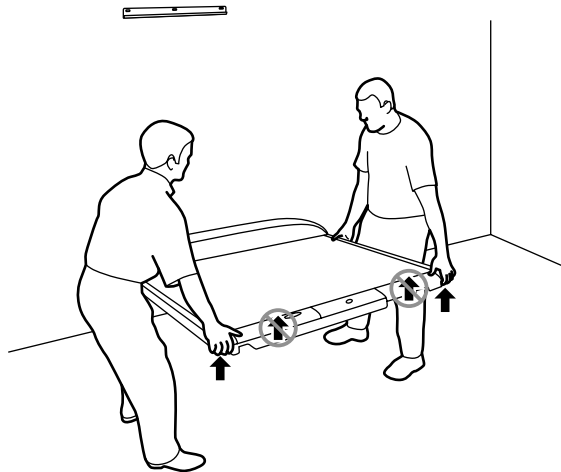
1. 可能ならば、本機を内箱に入れたまま壁に寄せます。投影アーム側がなるべくブラケットの真下に来るようにしてください。
2. 本機と壁の間に障害物があれば、取り除きます。

注意：投影ヘッドとスピーカーの側に重みが片寄りますので、ご注意ください。

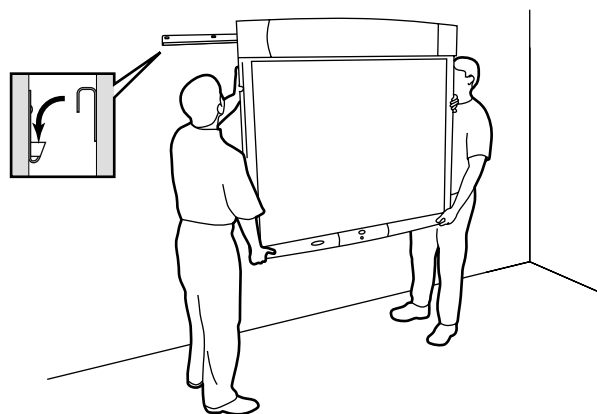
**警告**

本機の持ち上げによる人員の軽傷を防ぐために：

- 本機を壁掛用ブラケットに取り付けるときには、必ず2名で持ち上げてください。
- 本機を1名で持ち上げないでください。
- 30 kg程度の重量に確実に耐えられない方は、本機を持ち上げないでください。



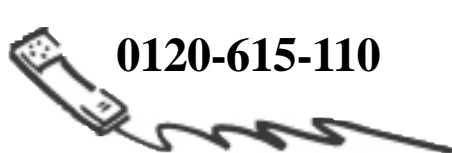
3. 2名が同時に投影アーム側を持ち上げて、本体のブラケットを壁のブラケットにかけます。本機が確実に装着されていることを確認してから手を放してください。



4. 投影アーム固定用のテープをはがします。

重要

3M社の製品に関する記載、技術情報、推奨事項等は、信頼に足ると思われる情報に基づいていますが、その正確性あるいは完全性を保証するものではありません。お客様はご使用に先立ち本製品を評価し、お客様の用途への適合性をご判断ください。お客様の用途に関わる危険性および責任は、お客様が全面的に負うものとします。本製品に関する表明で3M社の最新の刊行物に記載されていないもの、あるいはお客様の注文書に記載されている、相反する表明は、3M社の権限ある役員が署名した契約書により合意する場合を除き、効力を有しません。



0120-615-110



**http://www.mmm.co.jp/vsd/wall_display
e-mail: visual@info.mmm.co.jp**

住友スリーエム株式会社 ビジュアルシステムズプロジェクト部
〒158-8583 東京都世田谷区玉川台2-33-1